

ブンナよ、君は生きる なを生きる 満ちる 天と地に 命のよろこび

# ブンナよ、木からおりてこい

作=水上 勉

補綴=小松幹生

演出=磯村 純

美術=長田佳代子

照明=中川隆一

音楽=高崎真介

音響=原田耕児

衣裳=三大寺志保美

振付=渡辺美津子

舞台監督=尾花真

製作=水谷内助義、長尾敦

劇団青年座公演



水上勉の名作を、青年座が斬新な構成で「魅せる」。

鳥のように空を飛べたら、ひろい世界がみえるんだろう。  
……だけどぼくは蛙だから空は飛べない……



演劇鑑賞会  
**会員募集**  
松江市民劇場

演劇鑑賞会☆松江市民劇場

9/27(水) PM6:30開演

会場：島根県民会館 大ホール

後援：松江市教育委員会

●入会と観劇のお問い合わせは…松江市民劇場事務局 / TEL 0852(26)3094

※入会時 4,600円（入会金 2,300円+月会費 2,300円）

『ブンナよ、木からおりてこい』は

一九七八年四月二八日

青年座の本拠地・青年座劇場で産声を上げました

当初は中学校・高校の演劇鑑賞教室として

体育館をめぐり、次には全国の

子ども劇場・おやこ劇場の子どもたちと出会い

それから全国の演劇鑑賞団体の皆さんに

例会として迎えて頂き

中国、ロシア、アメリカ、韓国、と海外にも

出かけて行きました

そして積み重ねた上演回数が一一四〇回

青年座で最も多くの俳優、スタッフがかわった

青年座の財産演目です

この間、演出家は初演の篠崎光正から始まり

宮田慶子、鈴木完一郎、黒岩亮と変わりました

極めて珍しいことです

その都度私たちは時代の中で『ブンナ』と向き合って

今を生きる人々と共に感できる『ブンナ』を

つくり上げて来たのです

二〇一一年三月十一日

私たちは東日本大震災を経験しました

この悲惨な出来事を経て私たちは改めて

この日本で、世界で、生きることを考えました

そして、二〇一二年八月二十日

五代目演出家・磯村純を中心

新たなスタッフ、キャストで

新生ブンナを立ち上げました

青年座がつくりあげた新たな『ブンナ』に

どうぞご期待下さい。

皆さまとの出会いを楽しみにいたしています



#### 劇団青年座とは

青年座は1954年、森塚敏、成瀬昌彦、天野創治郎、上方弘、中台祥浩、東恵美子、山岡久乃、初井青葉、関弘子、氏家慎子ら十人の俳優によって創立いたしました。「青年座は創作劇をやって行く劇団です。それによって、日本の現実を演劇の中に根を下して行きたいと願うのです。生きて動いているこの社会の中で、直接私達の皮膚に触れる空気を、私達の舞台にしたいからです。」第一回公演『第三の証言』のパンフレットの冒頭に掲げられた宣言文の一節です。青年座は常に時代と向き合って作品をつくり続けています。

劇団青年座 Tel: 03-5478-8571 東京都渋谷区富ヶ谷1-53-12

Fax: 03-3465-0335

E-mail: info@seinenza.com http://seinenza.com

青年座Twitterアカウント @\_seinenza 青年座Youtubeチャンネルにて動画配信中!

# 七劇団青年座

第229回公演